

タイトル『とりあえずの殺人』

著者：赤川 次郎 出版社：光文社

この「とりあえずの殺人」は長編推理小説です。  
「屋上のキス」では、元子が電話を忘れて、  
橋口が昼飯をさそろうと元子がなぜか  
笑い出す。橋口は「何かおかしいんだ？」と  
聞くも笑いが止まらない元子。橋口は  
その後、一体どんな行動をとったのか。  
母親は大泥棒、長男は弁護士……  
そんな奇妙な人達かくり広げられた  
殺人劇。

面白いので是非読んでみてね~!

投稿日 2024年 11月 14日

ペンネーム(本名は書かないでね!)

レイマ

年齢

14

仙台市 泉 図書館 YAコーナー